＝社協だより＝

平成28年1月1日発行

しあわせ

第 100 号

社会福祉法人
棚倉町社会福祉協議会
棚倉町大字棚倉字中居野68番地1
電 話（0247）33−2623
FAX（0247）23−1525

第18回 秋のフェスティバル

今年の『秋のフェスティバル』はベリーダンス鑑賞から始まりました。

みんな初めて見るベリーダンスに見入っていました。

食生活改善推進員の皆さん

恒例のビンゴ大会

みんな集中して、今年は誰が一番早く揃うかな?

玉入れ、風船バレー、パン食い競争とレクリエーションが続き、昼食には、棚倉町食生活改善推進員の皆さんが準備して下さった豚汁と寿司でお腹を満たし、笑顔の絶えない一日になりました。

社会福祉協議会は地域福祉の要として、多くの人々の善意に支えられ、福祉事業活動を行っています。住み慣れた町（地域）で安心して、生活できるよう、みんなで互助の心をはぐくみ、支え合い、福祉の「まちづくり」を推進しましょう。

目次

ページ
・新年のご挨拶 …… 2
・会員会費報告・苦情相談受付 …… 3
・愛ちゃん希望くんだより・御寄付 …… 4
・社協のホームヘルプサービス …… 5
・しあわせ指定居宅介護支援事業所 …… 6
・地域包括支援センター …… 7
・ボランティアセンター …… 8〜9
・お知らせコーナー …… 10

新年のごあいさつ

棚倉町社会福祉協議会
会長（町長）
湯座　一平

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、年の初めをご家族揃って健やかに迎えられたこととお喜び申し上げます。

また、日ごろから当協議会の運営につきましては、温かいご支援とご協力をいただきありがとうございます。

お陰様で、地域福祉向上のための各種事業を順調に展開することができました。

さて、少子・高齢化の急速な進行や個人の価値観が多様化する中、地域の社会的なつながりが希薄化するなど地域社会を取り巻く環境は大きく変化し、世代を問わず、社会的な孤立や、権利擁護、生活困窮などの福祉課題が生じてきております。

この様な状況の下、当協議会におきましては、町民の皆様が住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活ができるよう、地域包括支援センターを中心に、民生児童委員をはじめ、様々な団体と連携を図りながら「安全で安心して暮らせる地域づくり」を目指し、地域福祉ネットワーク事業、日常生活支援事業、総合相談事業、火災通報システム事業などの各種事業を引き続き進めて参りますのでなお一層のご支援をよろしく願い申し上げます。

この一年が幸多き年でありますようご祈念申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

社会福祉協議会の会員会費にご協力ありがとうございました

町民に皆様には、社会福祉協議会の活動に賛同いただきありがとうございました。
会費の実績は下記のとおりとなりました。

■総　額　1,682,000円
■内　訳　特別会員　31世帯　62,000円
　　一般会員　3,199世帯　1,620,000円

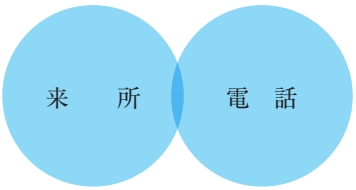
この会員会費は、地域に根差した福祉活動を進めるための財源として有効な活用を図ってまいります。
今後とも当協議会の事業運営についてご理解とご協力をお願いいたします。

苦情・相談の受付窓口

社会福祉法第82条の規定により、利用者様やご家族の皆様から苦情や相談に適切に対応するため、福祉サービスの「苦情・相談窓口」を設けています。

苦情の受付

苦情は面接、電話、書面などにより苦情受付担当者が随時受付します。
なお、第三者委員に直接苦情を申し出ることもできます。



苦情受付の報告・確認

苦情受付担当者は、受付けた苦情を苦情解決責任者及び第三者委員に報告します。
第三者委員は、苦情受付担当者から苦情内容の報告をうけたときは内容を確認するとともに、苦情申出人に対して報告をうけた旨を通知します。

苦情解決のための話し合い

苦情解決責任者は、苦情申出人と誠意をもって話し合い解決に努めます。その際、苦情申出人又は苦情解決責任者は、必要に応じて第三者委員の助言や立会を求めることができます。
第三者委員の立会による苦情申出人と苦情解決責任者の話し合いは、以下のとおり行います。

(1)第三者委員による苦情内容の確認
(2)第三者委員による解決案の調整、助言
(3)話し合いの結果や改善事項等の記録と確認

苦情相談窓口

苦情解決責任者　原　　正 久(事務局長)
苦情受付担当者　松本 ひとみ
電　話　番　号　33−2623 棚倉町社会福祉協議会

福島県福祉サービス運営適正化委員会

当事業所で解決できない苦情は、福島県社会福祉協議会に設置された「福島県福祉サービス運営適正化委員会」に申し出ることができます。
連絡先　電話 (024)523−2943　　住所 福島市渡利字七社宮111

愛ちゃん希望くんだより

赤い羽根共同募金運動チャリティバザーへのご協力ありがとうございました

11月1日、わくわく東白川ご当地キャラ祭inたなぐらにて開催いたしました「共同募金チャリティバザー」においては、皆様から多数バザー品のご提供をいただき、またご購入をいただき大盛況のうちに終了することができました。

今回、皆様からご提供いただきましたバザー出品数は698点で、113,580円を売上げることができました。

この売上金はすべて福島県共同募金会に送金し、様々な社会福祉事業へと配分をしてまいります。皆様の募金活動へのご協力と社会福祉事業へのご理解に対し、心よりお礼を申し上げます。

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動 ご協力ありがとうございました

10月1日から実施した「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい募金」には毎年ご協力を賜り感謝申し上げます。募金結果と配分実績については、平成28年4月1日発行予定の当協議会広報「しあわせ第101号」にて報告いたします。

ご寄附

社会福祉に役立ててくださいと、多くの方々から善意の寄附金が寄せられました。深く感謝申し上げます。（平成27年9月12日～平成27年12月9日）

御遺志による寄附（順不同）

飯島　伸司様　新　町	八代　和彦様　新　町	近藤　敏行様　祝部内	吉本　栄子様　福　岡
原　喜久男様　一　色	緑川　久雄様　仁公儀	藤田　喜作様　強　梨	田代　美次様　北　町
近藤　勇一様　日向前	緑川　啓市様　大　梅	大槻　栄吉様　上手沢	高宮　秀男様　山　田
金子　晃　様　北山本	八巻　誠　様　北　町	吾妻よし子様　町　裏	西牧　芳子様　逆　川
鈴木　一也様　逆　川	渡邊　守　様　八　槻	草野　正和様　堤	

その他の寄附

♥須藤　義春様　東京都

♥佐川　和子様　新　町

ごぞんじですか？

社協のホームヘルプサービス

朝晩の冷え込みが、ますます厳しい季節となりました。厚着をして、暖房を使用しているのに、なかなか指先まで温まらなくて…

そこで今回は、体を温める作用がある、『生姜』を使ったつくだ煮を紹介します。生姜の主な成分として、ジンゲロールとショウガオールがあります。生の生姜に多いジンゲロールには、殺菌効果、解熱効果、免疫力を高める効果があります。このジンゲロールは、100℃以下の温度でしっかり加熱すると、ショウガオールに変化します。ショウガオールには、血行を良くして、身体を芯(胃腸部分)から温める温熱効果、脂肪や糖の代謝を促進する効果、血液サラサラ効果があり、生活習慣病の予防に役立ちます。

生姜のつくだ煮なら、じっくり加熱するので、ショウガオールを効率良く摂取でき、血行を良くして、身体ポカポカ！寒い日も元気に過ごせるよう、ぜひ試してみてください。

≪生姜のつくだ煮≫

【材料】
- 生　姜・・・100g
- 削り節・・・・5g

(A)
- みりん・・・・大さじ2
- しょうゆ・・・・大さじ2
- 砂　糖・・・・大さじ1
- 水　・・・・100cc

＊ポイント＊
冷蔵保存すると、増えたショウガオールが減少してしまいます。少しずつ作って、早めに消費するようにしましょう。

【作り方】
① 生姜をよく洗い、皮をむいて千切りにする。
② 鍋に(A)を合わせ、生姜と削り節を加えて中火にかける。
③ 煮立ったら、ふたをして弱火にする。ときどき混ぜながら、しっかり煮詰める。

社協ヘルパーの今年の抱負!!

原　はつ子 ヘルパー
初心を忘れず、満点のスマイルで、今年も頑張る(^▽^)

品川　春枝 ヘルパー
あたたかい心で、お手伝いさせていただきます。

近藤セツ子 ヘルパー
笑顔で毎日が過ごせるように、お手伝いしたいです。

藤田美代子 ヘルパー
ホッとしてもらえるような一年に!

藤田サチ子 ヘルパー
たし算の人生を楽しんで頂ける様に、一緒に時間を共有していきたいです。

小 林　愛 ヘルパー
今年もお互いに笑顔で、穏やかに過ごせる一年となりますように、お役に立ちたいです。

私たちヘルパーは、利用される方々、ひとりひとりにあったサービスが提供できるよう、一丸となって頑張ります。今年もよろしくお願いいたします。

★ お気軽にご相談ください　☎33−2623（担当：西牧）★

しあわせ指定居宅介護支援事業所

～ケアマネ便り44～

今回は岡田にお住まいの蛭田タイさん(88歳)をご紹介します。

リハビリを頑張りながら、穏やかに暮らしたい

デイケアでの様子を見に行くと、タイさんが優しい笑顔で迎えてくれました。スタッフの声かけに励まされ、一歩また一歩と歩くタイさんの姿に、私も心なしか励まされる思いがしました。

タイさんは岡田に嫁ぎ66年になります。牛の世話やたばこ作りで毎日寝る間も惜しんで働きました。しぼりたて生乳を大きな缶に入れ、背負って町内まで運びました。「あの時はよく働いたなぁ。」と振り返ってくれました。

そんなタイさんですが、昨年は腸閉塞で手術し、約1ヶ月の入院となりました。ベッド上で安静にしている間に、足腰はみるみる弱ってしまい、気持ちも沈みそうになりましたが、「また、みんなに会いたい。デイケアに行きたい。」との強い思いがありました。ベッド上でできる足の曲げ伸ばし運動やマッサージ器具を使ったりと自分なりの工夫をしてリハビリを頑張りました。そんな時に支えになってくれたのは、やっぱり家族でした。長男夫婦は介護保険の住宅改修サービスを利用し、玄関に手すりを付けてくれました。おかげで、天気の良い日には玄関先まで手すりを伝い、日向ぼっこをしたり、岡田の四季折々の景色を眺めて、ゆったりと過ごせるようになりました。長男夫婦は、ブルーベリー栽培で忙しい時期もありますが、タイさんをいつも見守ってくれています。

これからも自然豊かな岡田の家で、孫やひ孫の顔をやさしい笑顔で見守るタイさんを、私も陰ながら応援していきたいと思います。

平行棒による歩行訓練中

プーリー器具による肩関節可動域訓練
笑顔でがんばってマス♪

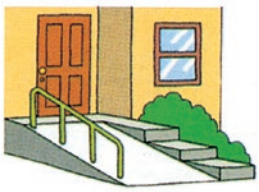
蛭田さん(要介護1)が利用している介護保険のサービス

通所リハビリ(デイケア)

短期入所生活介護(ショートステイ)

福祉用具貸与

住宅改修



※介護支援専門員が介護保険サービス利用のお手伝いをします。お気軽にご相談ください。
☎33-2623(担当：佐藤・後藤・安久津)

明けましておめでとうございます！
地域包括支援センターです

～地域包括支援センターは、 65歳以上の方のなんでも相談窓口です～

☎33－7811

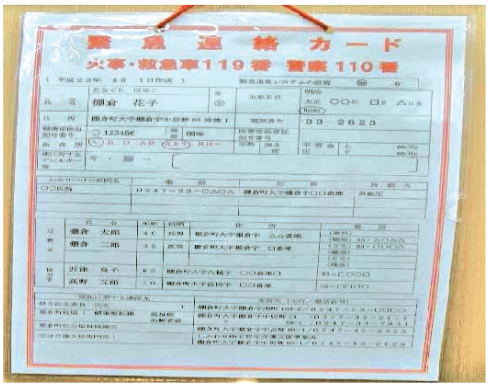
ご存じですか？『緊急連絡カード』について

急に家で倒れてしまった時や体調が悪くなってしまった時に、救急車を呼んでもその人の情報が分からず対応が遅くなってしまう・・・。そのようなことを防ぐために、地域包括支援センターでは、民生委員さんのご協力をいただき、緊急連絡カードの作成に取り組んでいます。

《緊急連絡カードとは》

右の写真のようなカードに、事前に血液型や平常血圧、かかりつけの病院、緊急連絡先等を記載しておくことで、緊急時に的確で迅速な処置・対応をすることができます。

おおむね65歳以上の一人暮らしの方を対象としていますが、高齢者世帯の方などはご相談ください。



《カードの使い方》(左から順番に)

① 玄関の内側に貼ることで、緊急時に駆け付けた救急隊などへ緊急連絡カードの設置を知らせることができます。

② 冷蔵庫に貼ることで、中に緊急連絡カードが入っていることを知らせることができます。

③ 冷蔵庫は耐震性・耐火性に優れているため、緊急連絡カードの保管に適しています。

携帯版・緊急連絡カードもあります！

外出時に身元の確認ができない場合、誰でも的確に身元の確認を行なえるように携帯版も作成しておりますので、ご希望の方はご相談ください。

その他、疑問等ありましたら地域包括支援センターにお気軽にお問い合わせください。

ボランティアセンター

平成27年度4町村社会福祉協議会合同ボランティアステップアップ研修会が12月3日(木)塙農村勤労福祉会館で行いました。日頃ボランティアで活動している方に労いと感謝の気持ちを込め、心身の疲れを癒してもらい、今後も引き続きやって頂けるようにという目的で開催しています。棚倉町からは14名参加しました。午前中は【みんなでつなごう！ボランティアの輪】と題して塙町で活動しているボランティア団体の事例発表があり、その後グループで日頃の活動について話し合いました。午後からは音楽療法士協会の齋藤由香さん、高田真紀子さんに来ていただき、音楽の力で心も身体もリフレッシュできたようです。

棚倉町赤十字奉仕団

委員長　藤田 春江さん

9月15日(火)鮫川村の鹿角平観光センターで東白川方部赤十字奉仕団の「炊き出し訓練研修会」が行われました。郡内4町村から団員約70人が参加し、ハイゼックス米を使った炊き出し訓練や防災教室として、ロープワーク研修で接合や結節、結着の仕方を学びました。万が一の災害時に後方支援が出来るよう熱心に聴きながら真剣に取り組んでいました。

銀メダルを取りました！！

毎月2回、棚倉サウンドテーブルテニスクラブの会員として練習している西牧民子さんが第15回全国障がい者スポーツ大会わかやま国体にサウンドテーブルテニス競技の福島県代表選手として出場しました。11月2日(月)にその結果を町長に報告し、「多くの方の協力があって、出場することが出来ました。お陰様で準優勝し、銀メダルをもらうことが出来ました！」と喜びと感謝の気持ちを伝えました。

傾聴ボランティア交流会

ほほえみ会会長　山口　彌代さん

9月25日(金)本宮市「すまいる」と棚倉町「ほほえみ会」との傾聴ボランティア交流会が本宮市で行われました。温かい雰囲気の中各グループに分かれ、意見交換が行われ、その結果をグループごとに発表し、考えを共有し実のある有意義な交流会になりました。

いきいきくらぶボランティア

11月17日から3日間リリアフラスクール棚倉教室(蛭田政江講師)によるフラダンスが披露されました。総勢15人でそれぞれの優雅な踊りにうっとりと酔いしれました。9曲披露され、鮮やかな衣装を身にまとった人たちを見て、「こんなに目の前で見られることは今までもこれからもないよ」と興奮し口々に話していました。「月の夜は」という曲目では利用者も一緒にフラダンスを踊りました。利用者からアンコールの声がかかり、最後に震災復興ソング「花は咲く」を15人全員で優雅に踊って頂き、華やかですばらしい豪華なフラダンスを堪能いたしました。ありがとうございました。

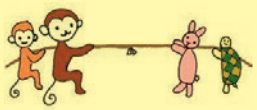
手作りのプレゼント

金澤 美和子さん

いきいきくらぶにボランティアとして協力して頂いている金澤さんが、今回はティッシュが入る保険証入れを作って持ってきてくれました。クリスマスプレゼントとして皆さんに渡すことが出来ました。利用者さんたちもとても喜んで持ち帰りました。いつもありがとうございます。

10月から12月まで活動して頂いたボランティアの皆さま

☆いきいきくらぶ：食生活改善推進員会、松本瞳さん
☆寿恵園訪問：ボランティアあすなろ
☆傾聴ボランティア：ほほえみ会
☆手作り雑巾ボランティア：飯島富子さん、たなぐら雛の会、
☆サロン：絵手紙の会福寿草、折り紙サークルつるの会
☆ほたるの里：歌体操「たんぽぽ」☆ タオルを頂きました。荒川 礼子さん



ご協力ありがとうございました。

※ボランティアセンターでは雑巾を縫ってくれる人を募集しています。(連絡先：33−2623)

お知らせコーナー

《心配ごと相談》

【民生委員による相談】　日時　毎月第２月曜日　午前９時～正午（祝祭日の場合は翌日）
１月12日　２月８日　３月14日

【弁護士による相談】　日時　毎月第３木曜日　午前10時30分～午後３時
１月21日　２月18日　３月17日

※相談については秘密を守ります。　※相談は棚倉町保健福祉センター内相談室で行います。
※無料で相談に応じますのでお気軽にご利用下さい。

平成27年度から弁護士による心配ごと相談の受付が変わりました。

御利用される皆様の便宜を図るため、平成27年度から電話予約を始めました。
電話による受付予約は、　**前日　９時～ 17時まで**　です。
当日　９時～ 12時まで　とします。
あらかじめ電話予約をして、お越しください。
電話番号は　33－2623　です。
来所による受付は、当日午前９時～午後３時までとします。

『地域サロンから』

★みなさんがお住いの地区で、地域サロンを実施してみませんか!!
★地域の人が気軽に集まれるふれあいの場、それが地域サロンです。

♥ 月に一回近くの集会所に集まって、一緒におしゃべりしましょう。
♥ お茶を飲んだり、歌を歌ったりしましょう。
♥ 一日一回、大声で笑いましょう。

活動内容 … 各地区での茶話会、趣味活動、レクリエーション等
場　　所 … 地域の集会所等
対　　象 … どなたでも参加できます
助　　成 … 参加者15人以下1,500円／回　16人以上2,000円／回
（行政区単位）

地域サロン開催地区
・戸中区　・山際区
・富岡区　・7区
・逆川区　・14区

10月に実施した地域サロン各会場では、絵手紙を描きました。絵は苦手と言いながらも、絵手紙の会福寿草の皆さんのご指導のもと、満足のいく作品に仕上がりました。

<逆川地区のみなさん>

祝 社協広報しあわせ100号発行!!

今号は、記念すべき100回目の広報発行となりました。これからも、町民の皆さんに出来るだけわかりやすく社協の情報を発信していきますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

※この広報紙の発行には、共同募金の配分金が一部使われています。